



はばたけ立花中

第5号 令和5年7月14日
編集責任者 校長 下川 泰伸

【校訓】英知・友愛・躍動

【立花中学校ブロック教育目標】
豊かな心と夢を持ち、たくましく未来を拓く児童・生徒の育成

夏休みまであと1週間になりました。大雨と猛暑が繰り返される日々ですがいかがお過ごしでしょうか。先日の大雨は、保護者の皆様にはたいへんご心配をおかけしました。

さて、本校では夏休み前に、自分の命を守るため、また様々な犯罪に巻き込まれないために講演会（実技講習会）を行いました。

避難訓練実施 6月6日(火)

地震発生直後、理科室での火災を想定しての避難訓練を行いました。全員が避難するまでにかかった時間は2分48秒でした。八女消防署の方より、火災に遭ったときの注意点や消化器の使い方、そして自然災害時に気をつけることなどの話を聴きました。



薬物乱用防止教室 6月16日(金)

久留米少年サポートセンターと八女警察署の方より、薬物の種類や乱用状況、そして心と体にどのような悪影響があるのか、また薬物を誘われたときの断り方などを学びました。



親子規範意識教室 6月26日(月)

NPO法人「子どもとメディア」の方より、スマートフォンやタブレットを使用する際に気をつけることや、インターネットによる「いじめ」や「トラブルの防止」などについて話を聴きました。



救命救急法 6月28日(水)

八女消防署の方より、心肺蘇生法及びAEDの使い方について話を聴き、その後生徒全員グループに分かれて実技講習を受けました。



※夏休み期間を、健康で安全にそして有意義に過ごすため再度ご家庭でも話し合いの時間を作ってください。

中体連八女地区大会(卓球、バレーボール、軟式野球、剣道)に出場

大雨のため日程が変更になりましたが、7月3日(月)から6日(木)までの4日間で中体連八女地区大会が行われました。3年生にとっては最後となる大会です。各部とも3年生を中心に精一杯頑張りました。保護者の皆様のご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

【八女地区大会の主な結果については以下のとおりです。】

- 男子卓球 団体3位(筑後地区大会出場)
- 女子卓球 団体予選リーグ 1勝1敗
- 女子バレーボール 予選1勝1敗 ベスト6
- 軟式野球 初戦勝利 2回戦 惜敗
- 剣道 男子個人 女子個人 1回戦 惜敗



八女地区青少年弁論大会で最優秀賞を受賞

7月9日(日)に八女市文化会館で八女地区弁論大会が開かれました。本校から3年生が出演し、『いと』という演題で、命の尊さについて自分の考えを堂々と述べました。その結果、最優秀賞に選ばれ、八女地区の代表として7月22日(土)大川市文化センターで行われる筑後地区青少年弁論大会に出場します。



7・8月の主な行事予定

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 7/20日(木) 授業終了、全校集会 | 8/4日(金) 全校出校日、平和学習、宿題点検 |
| 21日(金) 夏季休業(～8/24) | 11日(金) 山の日 |
| 24日(月) 補充学習開始 | 14日(月) 学校閉庁日(～16日) |
| | 25日(金) 授業開始、全校集会 |
| ※各学年での計画をご確認ください | 29日(火) 夏休み課題テスト |

7月は同和問題啓発強調月間です

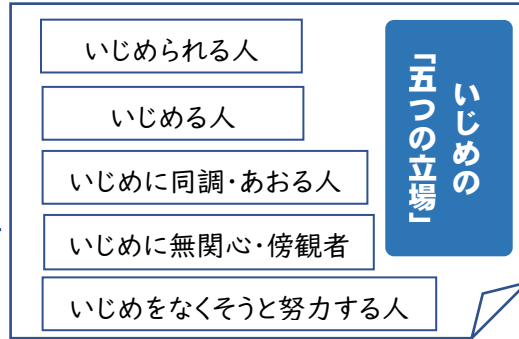
福岡県では、同和問題の解決をめざして7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、各機関や学校で差別をなくす取組を行っています。そこで本校が、6月と7月に行った人権学習について紹介します。

いじめについて

○いじめについて考えよう「5つの立場」から 【7月7日】

1年生は、身近な「いじめ」について考えました。いじめに気づいていても何もしない「傍観者」はいじめの側となること、いじめをなくすには「なくそうと努力する人」になることが大切であることを学びました。

どこまでがいじめる側だろう



〔生徒感想より〕

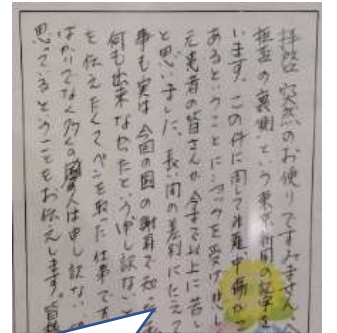
- いじめられている人がいたら、周りの人に相談したり、声をかけたりしたいと思う。
- いじめに対して無関心な人や傍観者にならないように、いじめをされている人を見かけたら勇気を出して止めるか大人に相談できる人になりたいと思う。
- いじめに無関心な人、傍観者もいじめる側に入ることがわかった。勇気を出して行動していきたい。そして、いじめのないクラスにしていきたい。



ハンセン病について

○ハンセン病について正しく知り、差別について考えよう 【6月9日】

2年生は、ハンセン病と悲しい歴史について学習しました。ハンセン病はうつることのない病気とわかり治療薬が開発されてからも、人々の“無知”や“偏見”によって患者に対する差別が続いたこと。差別をなくすには正しく学ぶことが大切だということを確認しました。



患者には誹謗中傷と応援の2種類の手紙が数多く寄せられました。

〔生徒感想より〕

- 相手を尊重するのは簡単そうでできている人は少ない。できていると思ってもできていなかったり、人の心をかえるのは難しいけど、一人でも多く誤解をうまないようにしたいと思います。まわりに流されず、噂を信じず、自分をもって努力していこうと思います。そして悲しむ人が減ればいいなと思います。
- 思い込みなどで行動せず、しっかりとした情報を知り、行動していくことが必要だと思います(学ぶ)。子どもでもわかるのに、大人が差別をしてどうするんだ!という恥ずかしい心を持って差別をやめさせるべきだと思う。

「解放令」について

○「解放令」について考えよう 【7月7日】

3年生は、明治時代のはじめに「解放令」が出され、当時あった「身分制」は廃止されたが、その後、約150年経った今も差別の実態があること。“差別”は“差別をする人たち”によって作り出されること、差別をなくすためには思い込みや噂にながされず、真実を見つめることが大切だと学びました。

〔生徒感想より〕

- 今日の学習で、差別や偏見は思い込みや噂で起こることが分かった。
- 全員正しい知識を身につけることができたなら、本当に差別はなくなるかもしれない。相手の人のことを考え、尊重し合うのが大切だなと思った。
- 差別をなくしていくためには、しっかりと勉強をして正しい知識を身につけることが大切ということがわかった。噂に流されない人になろうと思った。